

「スマホ依存・ネット依存」等“ネットトラブル”を防ぐために

校長 阿部 孝

今年の冬は記録的な暖冬となりました。学校の生活だけを考えれば、道路の状態が良いため、生徒が安全で快適に通学ができることにそのメリットを感じています。しかし、雪不足でスキー場の営業や冬のイベントの中止などを余儀なくされ、本来冬眠するはずのクマが真冬に発見されたとの報道があるたびに、雪国山形の観光や農作物への影響を危惧し、また、動植物の自然の営みはどうなるのだろうかと心配しているところです。

さて、現代社会は、スマートフォンやパソコンなどのICT機器が急速に普及し、今では日常生活の中で当たり前のように使われ、連絡の手段や調べ学習などを簡単に、かつスピーディに出来る世の中になりました。しかし一方では、LINEやFacebookなどSNSへの書き込みが原因でのトラブルや高校生がSNSで知り合った大人から遠くまで連れていかれたという事案も発生しています。また、スマートフォン等の使用については、ONとOFFを自分の意志でコントロールができない状態になる「スマホ依存・ネット依存」も大きな社会問題です。ご家庭では「スマホ・ネット」の使い方はいかがでしょうか。

特にスマホ・ネットの過度の利用が原因で、心身のバランスが崩れて昼夜が逆転し、学校に来れなくなるケースや、LINE（メール）トラブルで友達との人間関係を悪化させるケースは本校にもあります。ネット上の書き込みや動画、音楽などのコンテンツを長時間見続ける「コンテンツ依存」、ゲーム夢中になってしまう「ゲーム依存」、SNSの中だけの人間関係で繋がりを求める「繋がり依存」などが原因と考えられます。共通することは、無言でスマホやネットに向き合ってしまうのが現実なのかと思います。大切なことは相手に目と目を合わせ、自分の考えを自分の言葉で直接語りかけることです。

今年度の生徒会活動に、「ノーメディア・デイ」を設定し、スマホ等の機器を使わない日を設ける取組みがありました。全校生徒の中でも賛否両論がある中で、「スマホ依存・ネット依存」について問題意識を持ち、自浄努力をしようとするものでした。また、昨年11月には、本校と市内の中学校、上山高等養護学校の生徒会役員が校種を超えて一堂に会して「ふれあいトークかみのやま」を開催し、「中高生のネットトラブルを考える」をテーマにワークショップ形式で課題解決に取り組んだところです。ネットトラブル等については、生徒達も認識しており、解決改善のためには「家庭や地域でも取り組むべき」、「親兄弟も同様にルールの中で生活すべき」など、個人のルールには限界があり、社会全体で取り組むことの必要性を訴えるなど、前向きな意見が数多く出されました。

教師や親からの押し付けではなく、生徒自らが問題意識を持ち、考える機会をつくることが大切なのかと思います。ぜひ、家庭でも「スマホ・ネット」のルールについて一緒に考えていただければ幸いです。今後とも、生徒たちが豊か心で逞しく生きる力を育み、確かな学びと健やかな成長を遂げるために、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。